

4. 多様な主体による連携

4.1 産学公金連携

4.1.1 東京イノベーションハブの活用

都産技研では、中小企業間の交流、企業と大学、学協会、研究機関などと交流・連携し、新たなビジネスを創出する場として約 400 m²のオープンスペースを本部に配置している。都産技研が主催する情報発信事業のほか、学協会が有するシーズや研究成果などを都内中小企業の製品化・事業化へ生かすための学協会連携事業などを開催し、産学公金連携事業を推進した。平成 29 年度の取り組みは以下のとおりである。

(1) 都産技研主催

開催年月日	催事名
平成29年 5月22日	日・タイ経済協力セミナー
平成29年 6月 8～ 9日	TIRI クロスミーティング 2017
平成29年 7月25日	【グローバル人材育成 欧州編】 CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門 第1弾
平成29年 7月26日	東京 TY フィナンシャルグループ見学会
平成29年 8月 9日	INNOVESTA!2017 ファミリーデー
平成29年 9月 8日	INNOVESTA!2017 ビジネスデー
平成29年 9月25日	経済産業省セミナー（日・タイ経済協力協会）
平成29年10月13日	都立産技研医療機器産業参入支援事業 キックオフ記念セミナー 「ライフサイエンス イノベーション発信セミナー」
平成29年10月25日	【MTEP 5周年記念特別セミナー】 起こせイノベーション！海外展開成功へのアプローチ
平成29年11月24日	航空機産業支援室開設プレセミナー (航空機産業に係る国際規格対応の試験設備の導入など)
平成29年11月27日	世界に通用するものづくりセミナー 医療機器指令(MDR)へ～欧州の医療機器-現在と未来-～
平成29年12月 4日	【グローバル人材育成 欧州編】 CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門 第2弾
平成29年12月 6日	東京ベイイノベーションフォーラム
平成29年12月15日	技術セミナー「プラスチックの話」
平成29年12月27日	医工連携会議
平成30年 1月24日	技術セミナー 「フレキシブルデバイスの開発動向と都産技研の支援機器」
平成30年 2月 2日	東京イノベーション発信交流会
平成30年 2月13日	【海外規格精通シリーズ】新・製品安全規格 IEC 62368-1
平成30年 2月20日	第33回 東京都異業種交流会合同交流会
平成30年 3月14日	丸のこ等取り扱い作業従事者教育
平成30年 3月16日	タイ工業省視察

平成29年度 年報

(2) 都産技研共催

開催年月日	催事名	他主催者
平成29年 6月15日	第29回木材塗装基礎講座	木材塗装研究会
平成29年 7月13～14日	2017年次総会及び研究発表会	マテリアルライフ学会
平成29年 8月25～26日	真菌アレルギー及び食中毒の異物に関するシンポジウム (第44回カビ毒研究連絡会)	カビ毒研究連絡会
平成29年 8月29日	第1回保守検査部門ミニシンポジウム	(一社)日本非破壊検査協会
平成29年 8月30日	新たな機能性フィルム創製シンポジウム	機能性フィルム研究会
平成29年10月27日	セラミックス材料のリサイクル ー技術とシステムの確立の視点からー	(公社)日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会
平成29年12月 8日	東京都立産業技術研究センター・電気学会セミナー	(一社)電気学会
平成30年 1月23日	第53回日本食品照射研究協議会 教育講演会/研究発表会	日本食品照射研究協議会

(3) 都産技研後援

開催年月日	催事名	主催者
平成29年 5月11日	電気化学界面シミュレーションコンソーシアム第1回研究会	(国研)産業技術総合研究所
平成29年 6月29日	デュポンタイバック製カーゴカバーセミナー	旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ(株)
平成29年11月30日～ 12月 1日	第12回日本プラグファスト「HDMI インターフェースの相互運用性向上を目的とした接続検証イベント」	(一社)組込みシステム技術協会

(4) 都産技研連携機関との催事

開催年月日	催事名	主催者
平成29年11月 2日	中小企業のためのサイバーセキュリティイベント	警視庁

4.1.2 マッチングの場の提供

企業が新たな顧客と出会う機会を提供し、製品化や事業化を促進することを目的に、ビジネスマッチング交流会「東京イノベーション発信交流会 2018」を開催した。都産技研の利用企業および都産技研と業務連携協定を締結している大学・研究機関、支援機関、行政機関、金融機関から推薦された企業が出展した。

日時：平成30年2月2日（木）10:00～17:00

会場：都産技研本部

後援：公益財団法人東京都中小企業振興公社

出展企業：55社 来場者：303名

◆プログラム概要◆

【基調講演】 10:00～11:00

【展示会】 11:00～17:00 出展企業 55 社が自社製品・技術を紹介

【技術シーズ発表会】 13:15～17:45 都産技研および東京海洋大学、産業技術大学院大学、芝浦工業大学、首都大学東京、東京農工大学が保有技術シーズを紹介したほか、公益財団法人東京都中小企業振興公社による助成事業の紹介を行った。

4.1.3 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源が十分ではない中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供し合い、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が有効な手段の一つとなる。こうした交流を促進するために、新しい異業種交流グループを発足させる「グループ形成支援」と、既存グループ間の連携を促進する「グループ間交流支援」を行った。

(1) グループ形成支援

都産技研では、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）を昭和 59 年度から毎年発足させ、現在 28 グループ約 400 社の会員が活動している。平成 29 年度は課題解決型異業種交流グループの会員を新たに募集し、専門の助言者を配置して、平成 29 年 7 月から平成 30 年 3 月まで毎月 1 回の交流会を開催した。活動内容は、自社紹介、グループワーク、都産技研施設の見学、講演会などである。また、平成 28 年度に立ち上げた製品開発型異業種交流グループ（高齢者支援機器の開発）への活動支援も引き続き実施した。

異業種交流グループ名	開催日	開催回数	参加者数（延べ人数）
H29 グループ（課題解決型）	7 月～3 月、各 1 回	9	122
高齢者支援機器開発グループ（製品開発型）	4 月～3 月、各 1 回	12	66

(2) グループ間交流支援

1) グループ協議会

既存グループが活動状況や計画を紹介することでグループ間相互の交流を促進するとともに、合同交流会の実施について検討し、第 33 回合同交流会の開催を決定した。

会議名	開催日	参加グループ数（参加者数）
グループ協議会	6 月 2 日	17 (22)

2) 合同交流会および合同交流会実行委員会

各グループ会員の交流を深めるために、都産技研異業種交流グループの全グループ会員が一堂に会する第 33 回合同交流会を、平成 30 年 2 月 20 日、本部にて開催した。開催に向けて、各グループから選任された委員による合同交流会実行委員会を設置し、実施内容を検討した。平成 29 年度はより幅広い連携交流を図るため、公益財団法人東京都中小企業振興公社異業種交流グループおよび都産技研技術研究会の会員も参加し、

「今こそ 個の力 和のちから 世界発信」のテーマのもと、製品展示会（39 社）と分科会（①人の承継、②知的財産、③IoT セキュリティ、④サステナビリティ/CSR、⑤社会的課題解決に向けての連携、⑥拡販の具体的事例）を実施した。合同交流会および実行委員会の開催実績は以下のとおりである。

会 議 名（開催日）	開催回数	参加者数（延べ人数）
第 33 回合同交流会（2 月 20 日）	1	196
合同交流会実行委員会等	4	69

また、多摩テクノプラザを拠点として活動している 6 グループが、中小企業大学校・東京校を会場に、平成 29 年 9 月 1 日、第 5 回多摩グループ合同交流会を開催し、36 名が参加した。

3) 既存グループへの支援

自主運営に移行している既存の 27 グループに対し、会議室の利用、講演依頼への対応、情報の提供などのグループ活動への支援を行うとともに、グループ会員からの相談に対応した。既存異業種交流グループが都産技研において定例会などを開催した実績は、以下のとおりである。

会 議 名	利用回数	参加者数（延べ人数）
定例会など	94	860

4.1.4 業種別交流会

業界が抱えている技術的な課題を含めたニーズを的確に把握し、各事業に反映するために業種別交流会を開催している。中小企業の技術力向上のために、業界の活動状況や技術的問題点、今後の取り組みなどについての情報や意見の交換を行った。

No.	業 界 名	開催年月日	企業等参加者数 (都産技研参加者数)	内 容
1	多摩・区内繊維関連業界	平成 29 年 8 月 9 日	25 (11)	都産技研、東京都産業労働局商工部、(公財)東京都中小企業振興公社の事業説明。業界の現状、課題、計画および要望等を受けた後、意見交換。生活技術開発セクター見学。
2	東部金属熱処理工業組合	平成 29 年 9 月 13 日	23 (8)	金属熱処理業界の近況報告、都産技研の航空機産業支援紹介、中核人材インターンシップ実施の報告後、意見交換。非破壊検査関係機器見学。
3	東京温度検出端工業会	平成 29 年 10 月 20 日	25 (5)	都産技研事業の紹介および業界支援と今後の取り組みに向けた意見交換。業界要望に対する都産技研の対応を説明。
4	東京鼈甲組合連合会	平成 30 年 3 月 9 日	19 (3)	平成 29 年度東京都受託研究を報告後、業界支援と今後の取り組みに向けた要望を受け、意見交換。城東支所の施設見学。

4.1.5 技術研究会

技術力および技術開発力の向上を目指す中小企業の技術者とともに、製品開発など技術情報の交換を積極的に行った。

No.	名 称	設立 年月	活 動 目 的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催 回数
1	化学技術研究会	昭和 61 年 10 月	化学技術の向上、相互の技術交換	54 (10)	4
2	静電植毛加工技術研究会	昭和 62 年 4 月	静電植毛に関する知識と技術の向上、研究討論会などの開催、技術資料の収集	9 (3)	1
3	超音波応用懇談会	昭和 63 年 3 月	超音波および周辺技術に関する知識と技術の向上、異業種間の交流など	78 (19)	6
4	PC 情報研究会	平成元年 7 月	パソコンを主体とする情報機器の高度利用技術の研究、講習会の開催など	117 (46)	24
5	締結問題研究会	平成 6 年 2 月	締結部品の製造に関する知識と技術の向上、講習会などの開催、技術資料の収集	64 (9)	5
6	トライボコーティング 技術研究会	平成 6 年 11 月	表面改質技術およびその評価法についての情報収集、情報交換、共同研究	248 (10)	4
7	東京都健康福祉研究会	平成 8 年 4 月	健康・福祉に関する機器・用具・用品の技術と応用、管理運用についての研究	72 (24)	6
8	信頼性安全技術研究会	平成 9 年 4 月	信頼性技術の向上、研究討論会・講演会などの開催、技術情報交換	93 (12)	7
9	粉末冶金技術研究会	平成 9 年 4 月	粉末冶金全般に関する技術について、情報収集、情報交換、共同研究などを実施	79 (3)	2
10	表面科学交流会	平成 10 年 4 月	めっき会社を中心とした企業の連携を強化し表面科学に関する見聞を広める	31 (3)	3
11	ユニバーサルファッション 製品の企画開発研究会	平成 13 年 10 月	ユニバーサルファッション製品および高齢者対応製品の開発支援・情報交換	96 (18)	11
12	循環型技術研究会	平成 14 年 7 月	循環型技術の情報交換や、異業種交流・産学公連携による技術開発の場として活動する	236 (10)	8
13	八王子産地オリジナル 製品開発研究会	平成 14 年 8 月	八王子産地オリジナル製品開発のためのデザイン情報の交換、販路の開拓等の勉強会を行う	20 (2)	1
14	東京温度検出端工業会 技術懇談会	平成 18 年 4 月	温度センサーおよび貴金属メーカー間の技術交換、最新情報の共有	30 (5)	1
15	デザインマーケティング 技術研究会	平成 23 年 4 月	デザイナーのセルフマーケティングについて研究。地域地場産業との合同プロジェクト体制や営業技術の研究	34 (10)	3
16	東京都ロボット研究会	平成 23 年 4 月	サービスロボットやその類似技術における技術面、ビジネスモデル、ブランド確立に向けた連携	167 (23)	8
17	塗膜性能評価研究会	平成 23 年 10 月	航空宇宙産業におけるサプライヤーチェーンの構築、マーケットの獲得	31 (13)	4
18	ガラス技術交流会	平成 24 年 3 月	広くガラス技術に関して、会員相互の交流や国際交流を推進することによる、技術者の活性化や新技術の理解習得など	169 (30)	6
19	感性工学研究会	平成 25 年 1 月	新しい工学技術分野としての感性工学について理解を深め、企業や研究者による製品の感性評価や感性工学技術の情報交換、会員相互による研究の協力体制の確立など	188 (32)	6
20	TIRI 情報セキュリティ 研究会	平成 27 年 4 月	サイバー攻撃の実態調査、生活ロボットへの組み込みシステム、中小企業向けセキュリティ簡易診断法開発、情報セキュリティに関する勉強会や普及促進活動	148 (37)	14

平成29年度 年報

No.	名 称	設立 年月	活 動 目 的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催 回数
21	保存修復開発研究会	平成 27 年 7 月	新材料を修復技術に応用することを目的とし、情報収集、情報交換、共同調査・研究を実施し、相互の技術力と経営力を向上させる	7 (4)	1
22	金属加工の潤滑技術研究会	平成 28 年 1 月	金属加工に用いられる潤滑剤の効果について議論・検証し、中小企業が抱える潤滑技術の課題を、相互の技術と知識により解決する	45 (11)	4
23	フィルム物性研究会	平成 30 年 2 月	新たな機能・価値を付与したフィルムプロダクトを創出し、ものづくりの現場の活性化を目指す	21 (5)	1

以下の技術研究会を、平成 29 年度に廃止した。

東京都ロボット研究会（平成 30 年 3 月 31 日）

以下の技術研究会を、平成 29 年度に新規設立した。

フィルム物性研究会（平成 30 年 2 月 1 日）

4.2 行政等支援機関連携

4.2.1 協定・覚書締結一覧

大学研究機関、産業支援機関、行政機関、金融機関と協定、覚書などを締結し、産業振興および中小企業振興のための事業連携を図っている。各機関との「協定書」、「覚書」の締結状況は以下のとおりである（平成 30 年 3 月 31 日現在）。

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
1	(公財)東京都中小企業振興公社	協定書	平成18年 4月 1日
		覚書	平成19年 1月 4日
2	(一社)コラボ産学官	協定書	平成18年 8月10日
		秘密保持契約書	平成18年 9月 1日
3	産業技術大学院大学	協定書	平成19年 2月26日
4	首都大学東京	業務協定書	平成19年 3月15日
5	東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	協定書	平成20年 4月 1日
6	長岡技術科学大学	協定書	平成20年 8月26日
		覚書	平成21年 8月 6日
7	新宿区	協定書	平成20年 9月22日
8	東京都立多摩科学技術高等学校	覚書	平成20年10月14日
9	芝浦工業大学	協定書	平成21年 3月12日
		教育研究協力に関する協定	平成21年11月10日
10	板橋区	業務連携に関する覚書	平成21年 6月 3日
11	港区	協定書	平成21年 7月16日
12	多摩信用金庫	たましん事業支援センターの 活用に関する覚書	平成21年 7月16日
13	府中市	覚書	平成22年 5月13日
14	(国研)産業技術総合研究所	協定書	平成22年11月24日
15	北区	覚書	平成23年 2月21日
16	(公財)まちみらい千代田	覚書	平成23年 4月14日
17	品川区	協定書	平成23年 6月 1日
18	東京都立産業技術高等専門学校	協定書	平成23年 9月12日
19	江東区	協定書	平成23年 9月14日

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
20	朝日信用金庫	協定書	平成24年 1月27日
21	(一財)機械振興協会	協定書	平成24年 3月 8日
22	(公財)日本発明振興協会	協定書	平成24年 4月 9日
23	江東信用組合	協定書	平成24年 6月 6日
24	東京電機大学	協定書	平成24年 7月23日
25	明星学苑明星大学	協定書	平成24年10月12日
26	(公財)東京都農林水産振興財団	協定書	平成24年12月 7日
27	日野市	覚書	平成25年 2月26日
28	昭島市	協定書	平成25年 3月12日
29	城南信用金庫	覚書	平成25年 3月13日
30	(一財)化学研究評価機構	協定書	平成25年 3月21日
31	さわやか信用金庫	協定書	平成25年 4月 1日
32	(一社)東京工業団体連合会	協定書	平成25年 9月 5日
33	東京都商工会連合会	協定書	平成25年10月22日
34	西武信用金庫	協定書	平成25年10月28日
35	東京理科大学	協定書	平成25年11月 5日
36	葛飾区	協定書	平成25年11月26日
37	東京工業高等専門学校	協定書	平成26年 3月26日
38	法政大学	協定書	平成26年 4月11日
39	東京東信用金庫	協定書	平成26年 6月 3日
40	芝信用金庫	協定書	平成26年 6月11日
41	東京商工会議所	協定書	平成26年 7月14日
42	青梅市	協定書	平成26年 8月26日
43	青梅商工会議所	協定書	平成26年 8月26日
44	千葉工業大学	協定書	平成26年 9月30日
45	墨田区	協定書	平成26年11月13日
46	タイ工業省	協定書	平成26年11月25日
47	電気通信大学	協定書	平成26年12月09日
48	荒川区	協定書	平成27年 3月03日
49	泰日経済技術振興協会	協定書	平成27年 4月24日
50	(一社)組込みシステム技術協会	協定書	平成27年10月19日
51	(公財)台東区産業振興事業団	協定書	平成27年11月05日
52	泰日工業大学	協定書	平成28年 2月04日
53	亀有信用金庫	協定書	平成28年 2月17日
54	信州大学	協定書	平成28年 3月10日
		覚書	平成28年 5月31日
55	(株)東京 TY フィナンシャルグループ	協定書	平成28年 5月27日
56	江戸川区	協定書	平成29年 3月29日
57	東京海洋大学	協定書	平成29年 3月30日
58	東京農工大学	協定書	平成29年 9月13日

個別部署での協定締結

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日	連携部署
1	(株)日本政策金融公庫 大森支店	覚書	平成25年10月01日	城南支所
2	(株)日本政策金融公庫 立川支店	覚書	平成25年10月30日	多摩テクノプラザ
3	(株)日本政策金融公庫 千住支店	覚書	平成25年12月18日	城東支所
4	(株)日本政策金融公庫 江東支店	覚書	平成26年 1月17日	墨田支所

4.2.2 区市町村などとの連携

地域の中小企業を支援している区市町村などとの連携強化に努め、産学公連携に関する技術相談支援の拡大をはじめ、都産技研利用企業への利用料助成制度の実施など、企業支援の充実を図った。平成29年度の主な取り組みは以下のとおりである。

(1) 区部での連携

1) 城東地域

機関名	連携事業
台東区	<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)台東区産業振興事業団による都産技研利用助成の継続「試験研究機関活用支援助成金」 ・台東デザイナーズビレッジの施設公開を見学(5月) ・新製品新技術開発支援事業面接審査委員会へ委員派遣(7月)
墨田区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「依頼試験等利用補助」 ・すみだビジネスサポートセンターへ訪問・見学、都産技研事業案内等の配架を依頼(4月) ・すみだモダン2016発表会を見学(5月：渋谷ロフト間坂ステージ) ・スミファ(すみだファクトリーめぐり)参加企業ミーティングへ出席(6月、8月) ・スミファ(すみだファクトリーめぐり)の取材・対談に対応(8月) ・技術セミナー「『におい』をどうとらえるか」のPR協力を依頼(9月：都産技研墨田支所) ・墨田区産学官金連携推進会議へ出席(9月、実務者会議10月)
江東区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「都立産業技術研究センター利用料の一部補助」 <委員派遣> ・江東ブランド認定審査会(8月/2回) ・新製品・新技術開発補助金面接審査会(9月) ・共同研究補助金面接審査会(9月) <事業紹介> ・中小企業(製造業)向け「補助金・助成金制度説明会」に協力し、事業紹介(2月：テレコムセンター)
荒川区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「試験研究機関活用支援事業」 ・平成29年度「荒川区地域産業活性化研究補助金」に採択された研究提案「亜鉛めっき排水規制に対する新規脱脂洗浄方法の確立」を実施 ・連携会議および見学会を開催(5月) ・「豊島区・北区・荒川区 起業家交流会」のPRに協力(8月：北とぴあ)
足立区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「技術支援補助金」、「研究開発補助金」 <委員派遣> ・足立ブランド認定事業(11月/2回)
葛飾区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「製品性能試験費用補助事業」 <委員派遣> ・葛飾区新製品・新技術開発等審査委員会(7月) ・葛飾ブランド認定審査会(8月) ・葛飾区工業振興会議(9月、2月) ・葛飾区産学公連携推進会議(3回) ・第33回葛飾区産業フェア実行委員会(7回) ・「葛飾町工場物語」認定審査委員会(8月) ・葛飾区優良工場・優良技能士認定審査委員会(1月、2月) <出展> ・第4回町工場見本市2018(2月：東京国際フォーラム)
江戸川区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「産技研依頼試験等利用助成金」 ・TIRI NEWS10月号の特集「協定締結機関紹介・江戸川区」にて「自治体と連携した中小企業のものづくり支援」を紹介 ・「第19回産業ときめきフェア in EDOGAWA」を後援し、出展(11月：船堀ホール) ・区内企業に対する実地技術相談の要請を受け、実施(1月/2社4件)

2) 城南地域

機関名	連携事業
品川区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「東京都立産業技術研究センター利用料等助成」 ・連携会議および見学会を開催(5月) ・品川区の科学技術交流事業へ協力し、INNOVESTA!2017 ビジネスデーにて、モンゴル国高等専門学校の見学を対応(9月/学生9名、教員1名) ・品川区、目黒区、板橋区、江戸川区、北区合同開催「ものづくり商談会」へ出展し、事業紹介および技術相談対応(9月：品川産業支援交流施設「SHIP」) ・初開催の「品川情報クラスターフェア 2018」を後援し、都産技研のチリンロボットを出展(2月：大崎プライドコア)
目黒区	<ul style="list-style-type: none"> ・目黒区異業種交流会が都産技研本部を見学(6名)
大田区	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田地区物流センターにおける3Dものづくりの説明会に参加(7月) ・「大田区加工技術展示商談会」へ出展し、事業紹介(7月) ・大田区役所および東邦大学が城南支所を見学(8月/15名) ・「おおた商い観光展」にて都産技研ロボットの実演(10月：大田区産業プラザPi0) ・「第7回おおた研究・開発フェア」を後援し、出展(10月：大田区産業プラザPi0) ・「おおた工業フェア」へ出展し、事業紹介および技術相談対応(2月：大田区産業プラザPi0)

3) 城北地域

機関名	連携事業
北区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「依頼試験等補助事業」、「産学連携研究開発支援事業」 ・板橋区・北区・都産技研共催セミナー「中小企業のための売れるブランドづくり」にて事業紹介(8月：板橋区役所)
板橋区	<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)板橋区産業振興公社による都産技研利用助成の継続「依頼試験等補助事業」、「産学連携研究開発支援事業」 ・板橋区連携相談を受け、実地技術支援を実施(6月) ・板橋区・北区・都産技研共催セミナー「中小企業のための売れるブランドづくり」にて事業紹介(8月：板橋区役所) ・「第21回いたばし産業見本市」実行委員会へ委員派遣し、出展(11月)

4) 城西地域

機関名	連携事業
世田谷区	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「東京都立産業技術研究センター利用補助金」
練馬区	<ul style="list-style-type: none"> ・練馬産業見本市「ねりま EXP02017」へ初出展し、事業紹介および技術相談に対応(10月：としまえん屋内館)

5) 都心・副都心地域

機関名	連携事業
千代田区	<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)まちみらい千代田による都産技研利用助成の継続「マネジメント・サポートデスク」 ・「第11回千代田ビジネス大賞」を後援
港区	<ul style="list-style-type: none"> ・新規に都産技研利用に対する助成を開始(4月より)
文京区	<ul style="list-style-type: none"> ・文京区「中小企業サポートブック 2017」に、都産技研を支援機関として紹介

(2) 多摩地域での連携

機関名	連携事業
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研利用助成の継続「小規模企業産学連携促進補助金」、「産学連携による研究・開発費等補助金」

機関名	連携事業
青梅市	・おうめものづくり支援事業専門家会議へ委員派遣(7月) ・「第50回青梅産業観光まつり」へ出展(11月：永山公園グラウンド)
府中市	・第28回府中市工業技術展「ふちゅうテクノフェア」へ出展(10月：府中市市民会館)
昭島市	・都産技研利用助成の継続「ものづくり産業技術支援事業補助金」 ・「第49回昭島市産業まつり」へ出展(11月：昭島市民会館)
日野市	・都産技研利用助成の継続「ものづくり産業開発支援事業」、「専門家派遣費用補助事業」
羽村市	・都産技研利用助成の継続「地域イノベーション創出事業助成制度」

4.2.3 金融機関との連携

機関名	連携事業
多摩信用金庫	・第15回多摩ブルー・グリーン賞選考委員会へ委員派遣し(3回)、表彰式に参加(12月) ・第17回たま工業交流展出展企業説明会および施設見学会(1月)
さわやか信用金庫	・「INNOVESTA!ビジネスデー」にてコンサルティングセンター調査役が金融機関による支援事業を紹介(9月) ・「ビジネスフェア」へ出展(10月) 都産技研チリンロボットの実演およびマッチングを実施(2件)、地域小学校社会科見学に対応し、事業紹介
朝日信用金庫	・「東京イノベーション発信交流会2018」へのPR協力(12月) ・情報誌 Asahi News にて、都産技研事業紹介のほか、「城東支所リニューアル」、「航空機産業支援」を紹介(2月) ・東京都異業種交流グループ「合同交流会」にて情報交換(2月)
江東信用組合	・「東京イノベーション発信交流会2018」への出展企業推薦(1社)
城南信用金庫	・「2017“よい仕事おこし”フェア」へ出展(8月) ・ものづくりコンシェルジュと連携し、同業種交流会を見学
西武信用金庫	・「第18回ビジネスフェア from TAMA」出展(11月：東京ドームシティアプリズムホール)
東京東信用金庫	・連携技術相談対応(1件) ・「ひがしんビジネスフェア2017」(11月)を後援し、初出展で事業紹介および技術相談対応 ・「METALEX2017」にて都産技研ブース内に東信推薦企業が出展(10月：バンコク BITEC)
芝信用金庫	・「東京イノベーション発信交流会2018」へのPR協力(1月)
亀有信用金庫	・連携技術相談対応(1件) ・「東京イノベーション発信交流会2018」へのPR協力(1月)
東京TYフィナンシャルグループ	・専用相談シートによる連携相談(18件) ・新任行員の見学(4月/見学者5名) ・東京TYFG・(公財)東京都中小企業振興公社・川崎市主催「知的財産マッチング会」(5月：大田区産業プラザPi0) 都産技研シーズ紹介(3件)および個別相談に職員を5名派遣し、3社を対応 ・行員向け都産技研本部見学会を実施(7月/見学者55名) ・東京TYFG主催、(公財)東京都中小企業振興公社・都産技研共催「事業承継セミナー(城南地区)」にて講演「都産技研城南支所について」(9月：大田区産業プラザPi0) ・行員向け都産技研多摩テクノプラザ見学会を実施(12月/見学者30名)
昭和信用金庫	・「ビジネスマッチング交流会'17」へ出展(7月)
青梅信用金庫	・「第17回 あおしん ビジネス支援マッチング大会」出展し、事業紹介および技術相談に対応
シグマバンクグループ	・「第9回ビジネス交流会」へ出展(8月)
(一社)東京都信用金庫協会	・平成29年度優良企業表彰制度へ選考委員を派遣
(株)日本政策金融公庫	・大森支店と連携を強化し、セミナーや施設公開などの情報を提供

4.2.4 大学・研究機関等との連携

大学や研究機関などと各種事業や共同研究に取り組み、連携事業を推進した。

機関名	連携事業
首都大学東京	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研多摩テクノプラザ見学会を開催し、共同研究に向けての機器・設備の説明などを実施(4月/見学者5名) ・IoT 関連セミナー「サービス工学と文脈中心設計入門」を共催(7月、8月：都産技研バンコク支所/受講者40名程度) ・子ども化学技術教室へ大学より講師3名派遣(8月/参加者30名程度) ・「首都大学東京 技術懇親会(機械工学編)」を後援し、職員3名参加(9月：南大沢キャンパス) ・「東京イノベーション発信交流会 2018」の「技術シーズ発表会」にて主席 URA が講演「サービスロボット分野の技術シーズ紹介」(2月)
産業技術大学院大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「オープンインスティテュート(OPI)企画経営委員会」へ委員派遣(月1回程度) ・「東京イノベーション発信交流会 2018」の「技術シーズ発表会」にて教授が講演「IoT 時代における監視カメラシステムのプライバシー保護」(2月) ・「第11回臨海地区産学官連携フォーラム」にて教授が講演「AI・IoT・ビッグデータ時代のセキュリティとプライバシー」(2月：(国研)産業技術総合研究所臨海副都心センター)
東京都立産業技術高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・都立産技高専運営協力者委員を派遣 ・「東京イノベーション発信交流会 2018」の「連携機関の支援事業紹介」にてポスター展示および資料配布(2月)
東京理科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・理科大と共同研究している中小企業への技術支援について、葛飾区産学公連携会議にて情報交換
電気通信大学	<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)東京都中小企業振興公社多摩支社との共催セミナー「第1回産業セミナー 自動運転技術と中小企業の可能性」に、教授が基調講演「自動運転技術の現状と未来」(6月：(公財)東京都中小企業振興公社 多摩支社/参加者108名)
東京電機大学	<ul style="list-style-type: none"> ・技術習得が目的の研究生1名が6月より基盤研究にも携わるようになった
千葉工業大学	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉工業大学附属研究所「研究活動報告会」へ参加(9月) ・千葉工業大学学生向け見学会を実施(10月/見学者19名)
芝浦工業大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「第9回臨海地区産学官連携フォーラム」にて教授が講演「安心・快適・わくわく感の計測」(5月：(国研)産業技術総合研究所臨海副都心センター) ・「東京イノベーション発信交流会 2018」の「技術シーズ発表会」にてコーディネータが講演「芝浦工業大学の産学連携に関する紹介」(2月)
信州大学	<ul style="list-style-type: none"> ・信州大学大学院医学系研究科が都産技研本部を見学(7月/見学者2名)
東京海洋大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「第10回臨海地区産学官連携フォーラム」にて URA が講演「東京海洋大学の研究と産学・地域連携」(10月) ・「東京イノベーション発信交流会 2018」の「技術シーズ発表会」にて URA が講演「水産・海洋分野の技術シーズ紹介」(2月)
東京農工大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京イノベーション発信交流会 2018」の「技術シーズ発表会」にて特任教授が講演「東京農工大学の技術シーズ紹介」(2月) ・共同研究を目指した研究者マッチングを推進中(5件) ・東京農工大学の教員を招いて都産技研職員向けの技術研修を実施(2月) ・都産技研の技術相談エキスパートシステムに東京農工大学教員の情報を登録し、共同技術相談を開始(2月)
東京工業大学	<ul style="list-style-type: none"> ・連携技術相談(2件)
東邦大学	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部と都産技研が内視鏡の共同開発を開始(8月)
埼玉大学	<ul style="list-style-type: none"> ・技術セミナー「『におい』をどうとらえるか」にて教員が講演「多数の香気成分からなる素材の香気の特徴をどうとらえるか」

機関名	連携事業
(国研)産業技術総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・「第9回臨海地区産学官連携フォーラム」を共同主催(5月:(国研)産業技術総合研究所臨海副都心センター) ・城東地域中小企業との懇談会を共同主催(9月:都産技研墨田支所) ・「第10回臨海地区産学官連携フォーラム」を共同主催(10月)(都産技研での初開催) ・「東京ベイイノベーションフォーラム」を共同主催(12月/参加企業9社:東京イノベーションハブ) ・「第11回臨海地区産学官連携フォーラム」を共同主催(2月:(国研)産業技術総合研究所臨海副都心センター)
(公財)東京都農林水産振興財団	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議にて研究連携紹介、技術分野紹介、意見交換を実施(4月/農林財団12名、都産技研19名参加)
(一財)機械振興協会	<ul style="list-style-type: none"> ・「INNOVESTA!2017 ビジネスデー」の「連携機関の紹介」にてパネル展示・資料配布(9月)
(一財)化学研究評価機構	<ul style="list-style-type: none"> ・「JCII 標準化調査研究成果発表会」を後援し、職員4名聴講(8月:御茶ノ水ソラシティ) ・意見交換会を開催(8月、11月)
(一社)組込みシステム技術協会	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京イノベーション発信交流会 2018」へ出展企業1社推薦
(一社)コロボ産学官	<ul style="list-style-type: none"> ・「えどがわ産学官金連携推進フォーラム」を後援し、千葉工業大学人工知能・ソフトウェア技術研究センターの主任研究員を講師として紹介(9月:タワーホール船堀) ・「INNOVESTA!2017 ビジネスデー」の「連携機関の紹介」にてパネル展示・資料配布(9月) ・「えどがわ産学官金連携推進フォーラム」を後援し、PRに協力(3月:タワーホール船堀) ・「東京イノベーション発信交流会 2018」への出展企業2社推薦を受け、技術優位性の「見える化」支援のための企業訪問に同行(1月)
東京都商工会連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京イノベーション発信交流会 2018」へ出展企業推薦(1社)
東京商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・「産学公連携相談窓口」事業の継続連携相談対応(5件)および参画機関会議へ出席し、意見交換(3月) ・「東京イノベーション発信交流会 2018」のPR協力として、「東商テクノネット事業・メール情報」にて配信
青梅商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京イノベーション発信交流会 2018」へ出展企業推薦(2社)

4.2.5 首都圏公設試験研究機関との連携

平成14年度、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県が連携し、都県域の枠にとらわれず、域内中小企業の技術支援を行うために、首都圏公設試験研究機関連携体(以下、「TKF」という。)を設立した。平成20年度からは横浜市も参加し、5機関体制となった。また、公設試では平成23年度より長野県、平成25年度より栃木県、群馬県、山梨県、山梨県富士工業技術センター、さらに平成26年度には茨城県、静岡県、平成27年度には新潟県がオブザーバー機関として参加している。

連携5機関：都産技研、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所、横浜市工業技術支援センター

オブザーバー機関：関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、国立研究開発法人産業技術総合研究所、茨城県工業技術センター、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、新潟県工業技術総合研究所、山梨県産業技術センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工業技術研究所

TKF ではウェブサイト「首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ」の運営や、「IT・情報」、「微細加工技術」、「高分子材料」、「デザイン」、「バイオ技術」、「ロボット技術」の技術分野における研究員の情報交換を目的としたパートナーグループの活動、研究員の相互派遣活動（TKF ミニインターンシップ）を通じて、相互の交流を進めている。

(1) 首都圏公設試連携推進会議

連携の具体的な方向性などを検討するために、定期的に首都圏公設試連携推進会議を開催している。また、年に1度 TKF 事業の成果発表の場として TKF フォーラムを開催し、連携の充実を図ってきた。平成 27 年度からは TKF フォーラムを一般公開し（TKF オープンフォーラム）、中小企業に対する情報提供の場、交流の場としている。

No.	開催年月日	開催場所	参加機関	出席者数
1	平成 29 年 7 月 12 日	都産技研	連携 5 機関、オブザーバー機関	41 名
2	平成 29 年 9 月 27 日※	埼玉県産業技術総合センター	連携 5 機関、オブザーバー機関、一般参加者	150 名
3	平成 30 年 2 月 23 日	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所 溝の口支所	連携 5 機関、オブザーバー機関	42 名

※TKF オープンフォーラムとして開催した。

(2) 他機関での発表

他機関で実施する研究発表会に、都産技研の職員を派遣して広く技術の普及活動を行った。発表実績は以下のとおりである。

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	主催機関	大会等の名称
1	平成 29 年 7 月 26 日	吸水後に拡張および硬化するゼラチンスポンジの開発	成田武文	千葉県産業支援技術研究所	平成 29 年度千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会
2	平成 29 年 7 月 26 日	金属空気電池および燃料電池のための窒素ドーパ多孔性カーボンナノ粒子触媒を用いた高出力酸素電極	立花直樹	千葉県産業支援技術研究所	平成 29 年度千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会
3	平成 29 年 9 月 27 日	視線制御型雲台システムの開発	大島浩幸	埼玉県産業技術総合センター	平成 29 年度オープンラボ
4	平成 29 年 9 月 27 日	都産技研のデザイン支援について	加藤貴司	埼玉県産業技術総合センター	平成 29 年度オープンラボ
5	平成 29 年 11 月 10 日	屋外用 T 型ロボットベース「Taurus」の開発	益田俊樹	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	平成 29 年度神奈川県ものづくり技術交流会
6	平成 29 年 11 月 10 日	ビルの強化ガラスの破損事故解析	宮宅ゆみ子	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	平成 29 年度神奈川県ものづくり技術交流会
7	平成 29 年 11 月 10 日	ステンレス鋼 17-4PH 積層造形材の機械的性質に及ぼす熱処理の影響	大久保 智	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	平成 29 年度神奈川県ものづくり技術交流会

4.2.6 公益財団法人東京都中小企業振興公社等との連携

(1) 公益財団法人東京都中小企業振興公社との連携

都内中小企業の振興を図るため、平成 18 年、公益財団法人東京都中小企業振興公社と協定を締結し、各種事業を協力して実施している。

都産技研の城東、城南の各支所長がそれぞれ東京都城東地域中小企業振興センター、東京城南地域中小企業振興センターのセンター長を兼任し、技術支援および経営支援を統轄する体制を整えている。また、産業サポートスクエア・TAMA では、「産業サポートスクエア・TAMA 運営協議会」を設置し、中小企業振興の総合的支援および事業運営を協力して実施している。

種別	連携事業
講座・セミナー・フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ・公社 多摩支社と「第 1 回産業セミナー 自動運転技術と中小企業の可能性」を共催（6 月：多摩支社/参加者 108 名） ・第 3 回 IoT セミナーを共催し、東京都 IoT 研究会総会キックオフ（11 月：参加者 93 名） ・第 4 回 IoT セミナーを共催し、東京都 IoT 研究会総会を開催（2 月：参加者 84 名）
交流会・マッチング会	<ul style="list-style-type: none"> ・企業交流会 in バンコク交流会を共催（4 回） ・ものづくり企業交流会 2018 in バンコクを共催（3 月） ・「TIRI クロスミーティング 2017」に公社がブース出展し、世界発信 PT 事業説明（6 月） ・「東京イノベーション発信交流会 2018」（2 月） 公社より出展企業 3 社推薦および公社ナビゲーター、コーディネーターがマッチングに協力
連携支援	<ul style="list-style-type: none"> ・連携技術相談（3 件） ・都産技研・（国研）産業技術総合研究所共同技術支援プロジェクトへ公社から企業推薦 ・東京 TYFG・公社・川崎市主催「知的財産マッチング会」（5 月：大田区産業プラザ Pi0） 都産技研シーズ 3 件紹介および個別相談に職員 5 名派遣し、3 社を対応 ・「東京手仕事」プロジェクトへ商品開発アドバイザーを派遣し、伝統工芸品の商品開発を支援 ・「事業化チャレンジ道場」事業に協力し、溶融積層造形装置による試作品造形に関するオーダーメイド開発支援を実施（5 件）
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・新任研修の一環として、都産技研事業説明および城南支所見学を実施（5 月：都産技研城南支所/公社新任職員 15 名参加） ・東京都知的財産総合センターが講師を派遣し、都産技研職員を対象に専門研修「技術審査に役立つ特許調査の方法」を共同開催（10 月/参加者 14 名）
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・都産技研メールニュースに公社事業の記事を 20 回掲載 ・公社メールマガジンに都産技研事業の記事を 12 回掲載 ・公社アーガス・ビジネスサポート TOKYO「印刷物送付サービス」を利用（4 月） ・「TOKYO ネットクラブまがじん」および広域多摩イノベーションプラットフォーム（IPF）のメール配信による「東京イノベーション発信交流会 2018」への PR 協力

※表中の「公社」は、公益財団法人東京都中小企業振興公社を指す。

(2) 医療機器産業参入支援

都産技研は、平成 29 年度からものづくり中小企業が医療機器開発・事業化を技術面で支援する医工連携事業を推進している。都産技研の医工連携コーディネーターが臨床機関および研究機関のシーズに基づき、ものづくり企業とのマッチング支援や、医療機器開発に必要な技術情報を提供するセミナー開催などを実施している。

本事業は、都産技研、東京都医工連携 HUB 機構、公益財団法人東京都中小企業振興公社の 3 機関が協力し、各機関の特徴を活かした活動を進めている。対象機関を限定せず臨床



(医工連携事業スキーム)

や研究機関、製販企業など医療関連機関からのシーズ、ニーズを、ものづくり中小企業に展開することを支援している。

コーディネーターの活動として、企業訪問や連携会議などを実施している。既存製品の医療機器への応用を検討している企業を訪問し、課題解決に向けたアドバイスを実施している。3 機関による連携会議では、ものづくり中小企業に対し、医療機関から提供されるニーズの展開の可能性について協議したり、ものづくり中小企業からシーズに関するプレゼンテーションを受け、今後の製品開発に向けた支援体制の確認などを実施している。

4.2.7 産業技術連携推進会議

産業技術連携推進会議は、全国の公設試および国が相互に連携し、効率的な事業運営を図るために、機関相互の情報交換や連絡調整、国への要望などの議題で開催されている。産業技術連携推進会議の組織には、技術分野別の部会、分科会、研究会があり、技術情報の交換、共同研究、現地研修、研究発表などの活動が行われている。

平成 29 年度の参加実績および各会議において、都産技研の事業紹介や研究成果発表などを行った発表実績は以下のとおりである。

(1) 参加実績

No.	開催年月日	会議名	開催場所
1	平成 29 年 5 月 19 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 関東・東北地域連絡会総会	新潟県工業技術総合研究所
2	平成 29 年 6 月 1 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	プラザホテル吉翠苑 (京都府)
3	平成 29 年 6 月 8～ 9 日	製造プロセス部会 表面技術分科会 DLC 技術研究会	かごしま県民交流センター
4	平成 29 年 6 月 15～16 日	ライフサイエンス部会 第 21 回デザイン分科会	長崎県美術館

平成29年度 年報

No.	開催年月日	会議名	開催場所
5	平成 29 年 6 月 21 日	製造プロセス部会 第 7 回 3D ものづくり特別分科会	都産技研本部
6	平成 29 年 9 月 21～22 日	ナノテクノロジー・材料部会 セラミックス分科会 第 64 回総会	ピアザ淡海（滋賀県）
7	平成 29 年 10 月 2～3 日	ナノテクノロジー・材料部会 ガラス材料技術分科会 第 11 回ガラス材料技術分科会総会・研修会	鳥取県衛生環境研究所
8	平成 29 年 10 月 5～6 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 繊維技術研究会	玉島市民交流センター（岡山県）
9	平成 29 年 10 月 12～13 日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会情報通信研究会	(国研)産業技術総合研究所 臨海副都心センター
10	平成 29 年 10 月 19～20 日	製造プロセス部会 第 25 回塗装工学分科会	石川県工業試験場
11	平成 29 年 10 月 19～20 日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第 11 回音・振動研究会	福井県工業技術センター
12	平成 29 年 10 月 26～27 日	第 22 回電磁環境分科会 第 27 回 EMC 研究会	東葛テクノプラザ（千葉県）
13	平成 29 年 10 月 26～27 日	情報通信・エレクトロニクス部会 電子技術分科会 高機能材料・デバイス研究会/実装・信頼性 技術研究会	都産技研本部
14	平成 29 年 10 月 31 日～11 月 1 日	ライフサイエンス部会 医療福祉技術分科会 人間工学研究会	M ウィング文化センター（長野県）
15	平成 29 年 11 月 13～14 日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 組込み技術研究会	埼玉県産業技術総合センター
16	平成 29 年 11 月 16～17 日	ナノテクノロジー・材料部会 木質科学分科会	松江テルサ（島根県）
17	平成 29 年 11 月 16～17 日	ナノテクノロジー・材料部会 高分子分科会	福井市地域交流プラザ
18	平成 29 年 11 月 17 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 関東・東北地域連絡会 生産・測定技術研究会	新潟県工業技術総合研究所
19	平成 29 年 11 月 21～22 日	製造プロセス部会 第 8 回 3D ものづくり特別分科会	ハピリンホール（福井県）
20	平成 29 年 12 月 6～8 日	知的基盤部会 第 12 回総会 計測分科会 第 2 回光放射計測研究会、形状計測 研究会 第 49 回温度・熱研究会	兵庫県立工業技術センター
21	平成 29 年 12 月 7～8 日	ライフサイエンス部会 第 22 回デザイン分科会	静岡市文化・クリエイティブ 産業振興センター
22	平成 30 年 1 月 19 日	知的基盤部会 電磁環境分科会	山梨県産業技術センター 甲府技術支援センター
23	平成 30 年 1 月 25 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会幹事会	都産技研本部
24	平成 30 年 2 月 13 日～14 日	ナノテクノロジー・材料部会総会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター
25	平成 30 年 2 月 13 日～14 日	製造プロセス部会総会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター
26	平成 30 年 2 月 13 日～14 日	環境・エネルギー部会・分科会・研究会合同総 会	都産技研本部

(2) 発表実績

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	場所	会議の名称
1	平成 29 年 6 月 9 日	平成 28 年度技術向上支援事業 報告	川口雅弘	かごしま県民交 流センター	製造プロセス部会 表面技 術分科会 DLC 技術研究会
2	平成 29 年 6 月 15 日	べっ甲ランプシェードのデザイ ン開発	上野明也	長崎県美術館	ライフサイエンス部会 第 21 回デザイン分科会
3	平成 29 年 6 月 15 日	装着のしやすい 下肢動作支援ロボットの開発	加藤貴司	長崎県美術館	ライフサイエンス部会 第 21 回デザイン分科会
4	平成 29 年 10 月 2 日	飛行時間型二次イオン質量分析 による分析事例	樋口智寛	鳥取県衛生環境 研究所	ナノテクノロジー・材料 部会 ガラス材料技術分科 会 第 11 回ガラス材料技 術分科会総会・研修会
5	平成 29 年 10 月 2 日	茜硝子の現状と製品展開事例紹 介	大久保一宏	鳥取県衛生環境 研究所	ナノテクノロジー・材料 部会 ガラス材料技術分科 会 第 11 回ガラス材料技 術分科会総会・研修会
6	平成 29 年 10 月 5 日	東京都立産業技術研究センター の産地状況報告	唐木由佑	玉島市民交流セ ンター（岡山 県）	ナノテクノロジー・材料 部会 繊維分科会 繊維技 術研究会
7	平成 29 年 10 月 12 日	高速通信試験の紹介	吉次なぎ	(国研)産業技術 総合研究所 臨海 副都心センター	情報通信・エレクトロニ クス部会 情報技術分科会 情報通信研究会
8	平成 29 年 10 月 19 日	塗装した熱処理木材の耐候性	村井まどか	石川県工業試験 場	製造プロセス部会 第 25 回塗装工学分科会
9	平成 29 年 10 月 19 日	振動試験機による NAS3350 試験 の実施について	福田良司	福井県工業技術 センター	情報通信・エレクトロニ クス部会 情報技術分科会 第 11 回 音・振動研究会
10	平成 29 年 10 月 19 日	都産技研における損失係数測定 と支援事例	渡辺茂幸	福井県工業技術 センター	情報通信・エレクトロニ クス部会 情報技術分科会 第 11 回 音・振動研究会
11	平成 29 年 10 月 26 日	都産技研における製品安全の取 り組み	上野武司	都産技研本部	情報通信・エレクトロニ クス部会 電子技術分科会 高機能材料・デバイス研 究会/実装・信頼性技術研 究会
12	平成 29 年 10 月 26 日	雷インパルス電流発生装置	新井宏章	都産技研本部	情報通信・エレクトロニ クス部会 電子技術分科会 高機能材料・デバイス研 究会/実装・信頼性技術研 究会
13	平成 29 年 10 月 26 日	極細白金線を用いた熱伝導式湿 度センサの高湿度環境での特性 評価とその応用	豊島克久	都産技研本部	情報通信・エレクトロニ クス部会 電子技術分科会 高機能材料・デバイス研 究会/実装・信頼性技術研 究会
14	平成 29 年 10 月 31 日	公設試験研究機関人間生活工学 機器データベース DHuLE	大島浩幸	M ウィング文化 センター（長野 県）	ライフサイエンス部会 医 療福祉技術分科会 人間工 学研究会
15	平成 29 年 11 月 13 日	施設園芸向け無線統合環境 制御システムの開発	仲村将司	埼玉県産業技術 総合センター	情報通信・エレクトロニ クス部会 情報技術分科会 組込み技術研究会
16	平成 29 年 11 月 16 日	担子菌およびイオン液体を併用 した高効率セルロース抽出法の 開発	濱野智子	松江テルサ（島 根県）	ナノテクノロジー・材料 部会 木質科学分科会

平成29年度 年報

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	場所	会議の名称
17	平成 29 年 11 月 17 日	東京都立産業技術研究センター の産地状況報告	小柴多佳子	新潟県工業技術 総合研究所	ナノテクノロジー・材料 部会 繊維分科会 関東・ 東北地域連絡会 生産・測 定技術研究会
18	平成 29 年 11 月 21 日	セラミック AM の紹介	小林隆一	ハピリンホール (福井県)	製造プロセス部会 第 8 回 3D ものづくり特別分科会
19	平成 29 年 12 月 6 日	CMM の測定戦略の違いによる不 確かさの検証	三浦由佳	兵庫県立工業技 術センター	知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会
20	平成 29 年 12 月 6 日	現場環境における三次元測定機 の高度化 -低熱膨張ステップ ゲージを用いた温度補正の評価-	大西 徹	兵庫県立工業技 術センター	知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会
21	平成 29 年 12 月 7 日	多点温度センサの開発	倉持幸佑	兵庫県立工業技 術センター	知的基盤部会計測分科会 第 49 回温度・熱研究会
22	平成 29 年 12 月 7 日	ハイパースペクトルカメラへの 分光放射輝度の値付け方法	秋葉拓也	兵庫県立工業技 術センター	知的基盤部会計測分科会 第 2 回光放射計測研究会
23	平成 29 年 12 月 7 日	照明の規格動向 -CIE S025 等 について-	岩永敏秀	兵庫県立工業技 術センター	知的基盤部会計測分科会 第 2 回光放射計測研究会
24	平成 29 年 12 月 7 日	都産技研における熱分析事例	林 孝星	兵庫県立工業技 術センター	知的基盤部会計測分科会 第 49 回温度・熱研究会
25	平成 29 年 12 月 7 日	日本の生活関連製品に対する外 国人の潜在的ニーズ抽出検討	橋本みゆき	静岡市文化・ク リエイティブ産 業振興センター	ライフサイエンス部会 第 22 回デザイン分科会
26	平成 30 年 1 月 19 日	東京都立産業技術研究センター の近況報告	佐々木秀勝	山梨県産業技術 センター 甲府技 術支援センター	知的基盤部会 電磁環境分 科会
27	平成 30 年 2 月 13 日	都産技研の研究開発事業につい て	堀江 暁	都産技研本部	環境・エネルギー部会・ 分科会・研究会合同総会

4.2.8 学協会連携事業

学協会が有するシーズを都内中小企業のものづくりに生かすため、中小企業と学協会との連携を推進する学協会連携事業を実施した。平成 29 年度に実施した事業は以下のとおりである。

No.	開催年月日	連携学協会	連携事業
1	平成 29 年 4 月 28 日	薄膜第 131 委員会	第 278 回委員会・第 284 回研究会
2	平成 29 年 5 月 18 日	表面技術協会 材料機能ドライプロセス 部会	第 103 回例会「ドライプロセスによる薄膜応 用」
3	平成 29 年 5 月 26 日	(一社)表面技術協会 ライトメタル表 面技術部会	第 316 回例会
4	平成 29 年 6 月 15 日	木材塗装研究会 (色材協会・木材加工 技術協会)	第 29 回木材塗装基礎講座
5	平成 29 年 7 月 13～14 日	マテリアルライフ学会	2017 年度総及び研究発表会
6	平成 29 年 8 月 25～26 日	カビ毒研究連絡会	真菌アレルギー及び食中毒の異物に関するシ ンポジウム
7	平成 29 年 8 月 29 日	(一社)日本非破壊検査協会	第 1 回保守検査部門ミニシンポジウム
8	平成 29 年 8 月 30 日	機能性フィルム研究会	第 2 回新たな機能性フィルム創製のシンポジ ウム

No.	開催年月日	連携学協会	連携事業
9	平成 29 年 9 月 27 日	日本機械学会関東支部 東京ブロック	第 3 回ラウンドイブニングセミナー
10	平成 29 年 10 月 3 日	マテリアルライフ学会	表面－界面物性研究会 2017 秋期講演会
11	平成 29 年 10 月 27 日	(公社)日本セラミックス協会 資源・環境関連部会	セラミックス材料のリサイクル －技術とシステムの確立の視点から－
12	平成 29 年 11 月 22 日	(一社)日本繊維機械学会 関東支部	繊維系研究機関シンポジウム 2017
13	平成 29 年 12 月 7～ 8 日	制振工学研究会	制振工学研究会設立 30 周年記念技術交流会 「技術者のための音響材料計測評価、解析、 適用方法及び感性と振動、騒音」
14	平成 29 年 12 月 8 日	(一社)電気学会	安全で省エネな社会の構築と中小企業支援
15	平成 29 年 12 月 26～27 日	(特非)パルテノン研究会	ハードウェア設計自動化技術に関する研究発表、 およびハードウェア記述言語 NSL 講習会
16	平成 30 年 1 月 10 日	(公財)大原記念労働科学研究所	消費者製品の化学物質管理の在り方に関する 共催セミナー
17	平成 30 年 1 月 19 日	(特非)FPGA コンソーシアム	東京 FPGA カンファレンス 2018 with プログラマデバイスプラザ
18	平成 30 年 1 月 23 日	日本食品照射研究会協議会	第 53 回日本食品照射研究会 教育講演会/ 研究発表会
19	平成 30 年 1 月 25～26 日	(一社)日本非破壊検査協会	第 25 回超音波による非破壊検査評価シンポジウム
20	平成 30 年 1 月 26 日	(一社)表面技術協会表面技術とものづくり研究部会	表面技術とものづくり研究部会 第 21 回例会
21	平成 30 年 1 月 26 日	(株)トリマティス (都産技研 製品開発支援ラボ入居)	アクアフォーラム
22	平成 30 年 1 月 26 日	日本材料試験技術協会	平成 29 年度硬さ懇話会/第 274 回材料試験 技術シンポジウム
23	平成 30 年 2 月 1～ 2 日	(一社)日本非破壊検査協会	第 11 回放射線による非破壊評価シンポジウム
24	平成 30 年 2 月 19 日	(一社)日本非破壊検査協会	超音波研究会
25	平成 30 年 3 月 6 日	マテリアルライフ学会	表面－界面物性研究会 2018 春期講演会